

## 2009 LAST MAN STANDING IN SPOLE 大会の流れ及びルール

2009 年 L.M.S. IN SPOLE へのご参加誠にありがとうございます。非常に狭い空間のため、選手の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

### タイムテーブル

9:00~9:30	受付
9:35~9:45	ルール説明(ルートの説明)
10:00~16:00	本戦
16:30~17:00	表彰式
17:00~	ランジコンテストなど
17:50~	閉会式

(コンペのため、状況により予定等が前後する事がございます。ご了承下さい)

本大会は「本戦」の成績のみで順位が決まります。

**今回は去年までのツアーコンダクター方式(?)とは若干異なりますので、必ず本戦の項目をお読み下さい。**

表彰式の後に恒例の任意参加(選手のみに限らせていただきます)で「ランジコンテスト」を開催致します。

大会中、ボルダーエリアは大混雑が予想されます。誠に恐縮ですが、競技中の選手の妨げにならないよう皆様ご協力下さい。

受付終了後、ウォーミングアップは携帯用のボルダーマットが敷いてある壁の下部で順々に行ってください。なお、競技に使用するボルダーエリアの壁を登ったり、ホールドには触ったりしないで下さい。

### 本戦・ランジコンテスト共通ルール

各課題はスタート地点からのトライのみ認められます。

指定がある場合を除いて壁(木ハリボテも含む)のスミアは使用できます。

FRPのハリボテは指定している場合のみ使用可能です(FRPハリボテ内についているボルト締めホールドについては課題ごとの指定に従って下さい)。

また、垂壁と100度壁の間のコーナー部分は指定されたときのみ利用可能です。

また、カンテ(ハリボテのカンテ部分は除く)も指定しているときのみ使用可能です

す。

なお、「ハンガー」、「ボルト穴」、「壁のふち」、「壁と壁の継ぎ目」や「壁と木ハリボテの継ぎ目」などは使用不可です。

スタートホールドは必ず両手で保持し、床（マット）から両足を離した状態で一旦静止してからスタートして下さい（スタートに「右」「左」と書いてあるものは指定の手でホールドして下さい）。

スタートとゴールを除く設定ホールドについては必ずしも全て使用する必要はありません。

**スタッフは原則としてスポット（クライマーが、悪い体勢で墜落しない様に補助すること）を行いません。**

もちろん選手同士や親御さんのスポットは構いませんが、選手が登っている途中に**スポッターが競技者にタッチした場合、そのトライは無効**となりますのでお気をつけ下さい。

完登は終了点を**両手で保持し、ジャッジの「完登」コールがあった時点**とします。コール前に降りた場合記録されません。

トライしている課題以外のホールドや床（マット）に体の一部が触れた場合、その成績は原則無効になります。

競技終了のコールがあっても、その時点でトライ中の選手は「完登」もしくは「墜落」するまで競技が可能です。ただ、その**延長は2分間が限度**です。なお、その次のラウンドは最後にトライしていた選手の次の選手から競技を開始します。

ホールドが回るなどのテクニカルインシデントがあった場合、その時点でタイムの計測をストップします。ただ、ストップの時点で他の壁を登っている競技者は完登または墜落まで競技を続けて下さい。テクニカルインシデントが解決した時点からまた競技を再開し、タイムの計測を始めます。

ブラッシングが必要であれば、原則自分のトライ前に自分で行って下さい。高くて届かない所などはジャッジに言ってスタッフにやって貰って下さい。

## 本戦ルール

本戦はセッション方式（制限時間内で選手が時間の限り繰り返しトライする方式）で行います。本戦はA・Bの2グループに分け、3ラウンドで競技を行います。競技エリアは「スラブ壁」、「垂壁」、「100度壁」、「125度壁右」、「125度壁左」の5箇所あります。選手の皆さんは右の例のように競技開始10分前までに休憩エリアの集合場所に集合して競技開始に備えて下さい。

「競技開始」の合図があったらエリアごとに所定の場所に並び、順番で課題にトライして頂きます。

選手の皆さんは競技終了のコールとともに、競技を直ちに終了し、スタッフの引率の元、どっかぶり壁の下を通過し休憩エリアに移動して下さい。**ジャッジ表は最後の提出の時まで各自でなくさないように保管して下さい。**

ジャッジ表の再発行は出来ませんのでご注意ください。

**今回は制限時間がそれぞれラウンド毎に異なります（80分、50分、20分）。その制限時間内にお好きなエリアに並び、設定されたお好きな課題（得点及び手足の限定の有無などは課題により異なる）をトライして頂きます。**完登したルートの合計点で順位を決めます（同じ課題でも完登するまで何回もトライしてもよい）

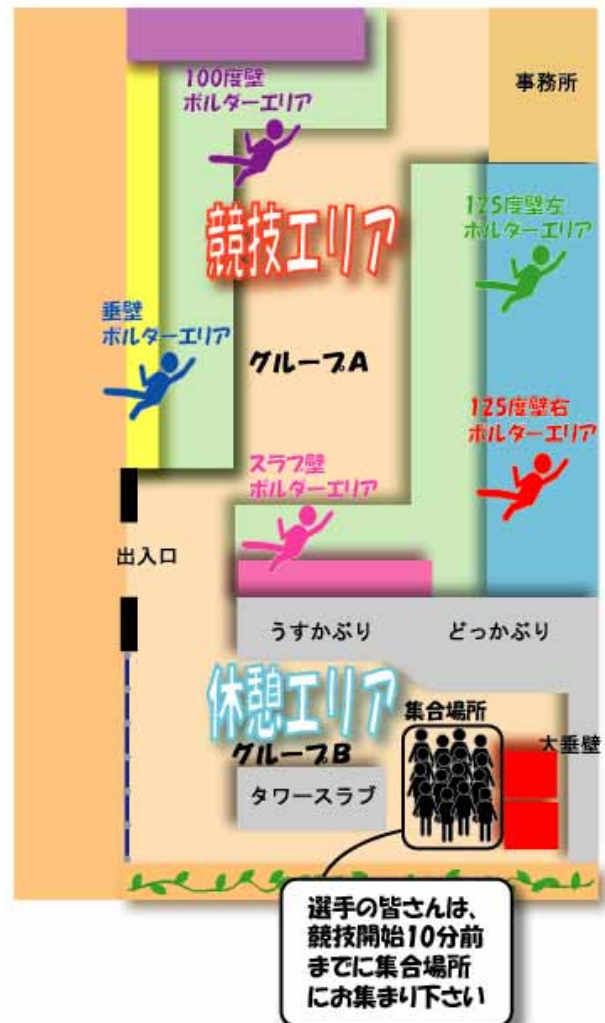
ただし、同ルートの再完登は得点が加算されませんのでご了承下さい。

Aグループがまず競技を開始します。

**Bグループの方はAグループの「ラウンド1」の競技を見る事は出来ません。ウォーミングアップエリアでアップするなどして競技、登りを見ないように注意してください。**

それ以外の時は、**他のグループの競技を観戦することは可能**です。

ただし、**自分のラウンド以外の時間には競技に使用する壁を登ったり、ホールドに触ったりしないで下さい。**



選手の皆さんは登りはじめる前に、まずエリアジャッジにジャッジ表を渡し、どの課題を登るかを伝えてから登りはじめるようにして下さい(例「じゃあ、青 を登ります！」という感じに... )。

**1トライにつき2分間の制限時間**を設けております。

皆様に快適に競技を行ってもらうため自分の順番が来たら速やかにクライミングを開始して下さい。あまりに時間がかかる場合は遅延行為ということで「パス」をしたものとみなされますので十分にご注意下さい。

「完登」のみを記録とします。

## ランジコンテストルール

ランジコンテストは任意参加(ただし選手の方のみ)です。トライ回数は原則回です。オーダー順は小学生 女子 男子の順で、かつそこまでの成績順の後ろの選手からトライしていきます。なお、名前が呼ばれてもその場にいらっしやらない場合は「不参加の意思」とみなされますのでご注意ください。

日頃の「飛びっぷり」をご披露下さい。

ただし、無理をしすぎて怪我などくれぐれもなさらないようお願い致します。

## その他

### 写真撮影について

当ジムホームページ用の写真の撮影を行う予定です。ご理解頂けますようよろしくお願い致します。

### ご休憩・ご飲食について

壁に掲示してあるタイムスケジュールのように、各ラウンドの合間に80分から20分程度の休憩時間があります。その間はロープエリアの安全な場所でご休憩下さい。

**外出される方は次のラウンドの集合時間(各ラウンドの10分前)に必ず間に合うようお願い致します。**

**注： 当日はかなり込み合います。貴重品や荷物の管理は各自でしっかり行って下さい。**



では皆さん L.M.S. IN SPOLE を存分にお楽しみ下さい！